

参加費
無料11月は
『製品安全総点検月間』「資源循環ビジネスと
安全確保への対応」

～持続可能な社会の実現のために～

持続可能な社会の実現に向けて、近年、欧州を中心に、循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行が強く求められるようになりました。日本国内においても急速に議論が進んでおり、意識の高い企業だけが先行する時代から、いよいよ法制度の整備による義務化のステージに変わりつつあります。

従来型の3R(リデュース・リユース・リサイクル)だけでなく、様々な形でのビジネスモデルの実装化が進む中、安全面(製品安全・消費者安全)への影響をどうとらえるべきなのか、今回のシンポジウムでは、法制度の進捗状況並びに、こうした動きを受けた企業の反応、そして消費者への期待について考えます。

～プログラム～

1. 講演①:「資源有効利用促進法(資源法)改正のポイント」
経済産業省 資源循環経済課 課長補佐 岡田時房様
2. 講演②:「サーキュラーエコノミー時代の企業の動き」
セイコーエプソン株式会社 寺地優子様
(GCNJ※ サークュラーエコノミー分科会 共同幹事)
3. 質疑応答・事前アンケート紹介ほか

※ GCNJ:グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン



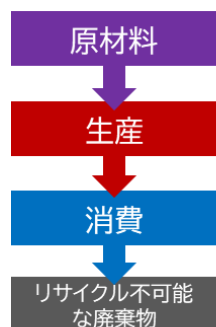
岡田時房様

経済産業省 イノベーション・環境局
GXグループ 資源循環経済課 課長補佐

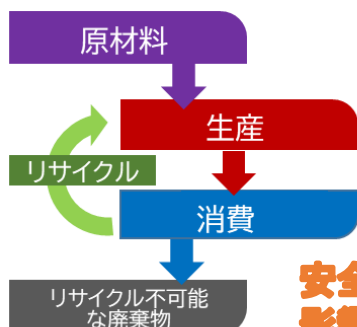
2008年経済産業省入省。入省以来、経済産業政策局や経済産業副大臣室、中小企業庁、内閣法制局など、幅広い業務に従事。

2024年5月より現職。

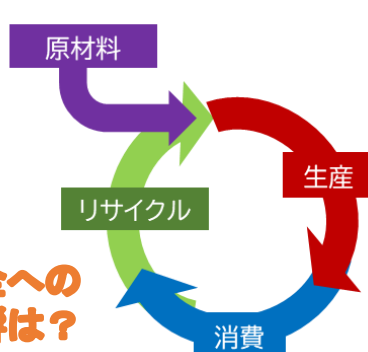
直線経済



再利用経済(3R経済)



循環経済(サーキュラエコノミー)

地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム

【日時】 2025年11月26日(水)
14:00～16:00 (13:50 入室開始)

【場所】 ZOOMオンラインウェビナー
【定員】 300名(定員になり次第締め切らせて頂きます。)
【申込】 右の二次元バーコードから参加登録をお願いします。



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_TXSne3oWQommmMCElcFAwjw

●お問い合わせ●

TEL 078-771-5135

JET(電気安全環境研究所)

担当:桑原(くわはら)

主催: 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム『安全とSDGs分科会』

協力: 公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)

一般社団法人 日本エンカル推進協議会(JEI)

一般社団法人 日本サステナブル・ラベル協会(JSL)

一般社団法人 APL-Japan(APL)

一般財団法人 製品安全協会(CPSA)

一般財団法人 電気安全環境研究所(JET)